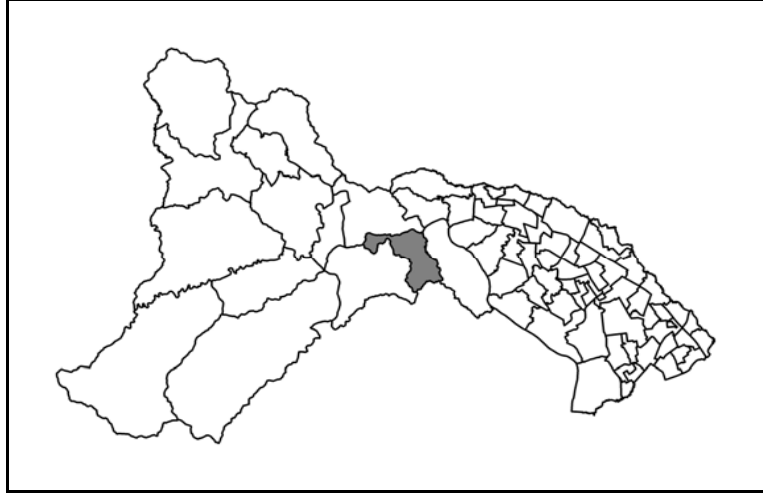


○地区を構成する町丁

【緑区】太井、中野、根小屋

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

津久井町(長竹, 自治会法人稲生, 中野, 自治会法人明日原, 自治会法人平井, 荒匂, 根本, 谷戸, 寺沢, 土沢, 金丸, 金原)

○地区概況

中央部が台地で周囲は山地となる。
住宅は中央部の台地と、北部の丘陵地を造成したところにある。
中央部には金原工業団地があり、北東部に津久井城址（県立津久井湖城山公園）がある。

○建物数・人口

建物		区分		建物 (棟数)
建物	木造(昭和55年以前)	367	棟	
	木造(昭和56年以降)	681	棟	
	非木造(昭和55年以前)	78	棟	
	非木造(昭和56年以降)	142	棟	
	合計	1,267	棟	
人口		区分		人口 (人)
人口	0~4歳	81	人	
	5~64歳	2,078	人	
	65歳以上	907	人	
	合計	3,066	人	

○所見

・尻久保川、串川沿いの台地の縁は、土砂災害が起こりやすい地形である。
・富士山の大規模噴火時には2cm未満の降灰が予測されており、道路や鉄道の通行支障、停電などのおそれがある（風向きによってはより重大な被害のおそれもある）。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	串川ひがし地域センター, 津久井学校給食センター
警察署	根小屋駐在所
消防署	
消防団詰所	根小屋, 根小屋中野
病院等	
主な災害時要援護者施設	高齢者向住宅 心渡の杜, 根小屋ケアホーム, グループホーム 梅, かながわ共同会根小屋地区日中支援センター, 社会福祉法人 寿幸会 旭ヶ丘老人ホーム
幼稚園、保育園	串川東部保育園
学校、大学	根小屋小学校
避難所	※根小屋小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫	根小屋小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

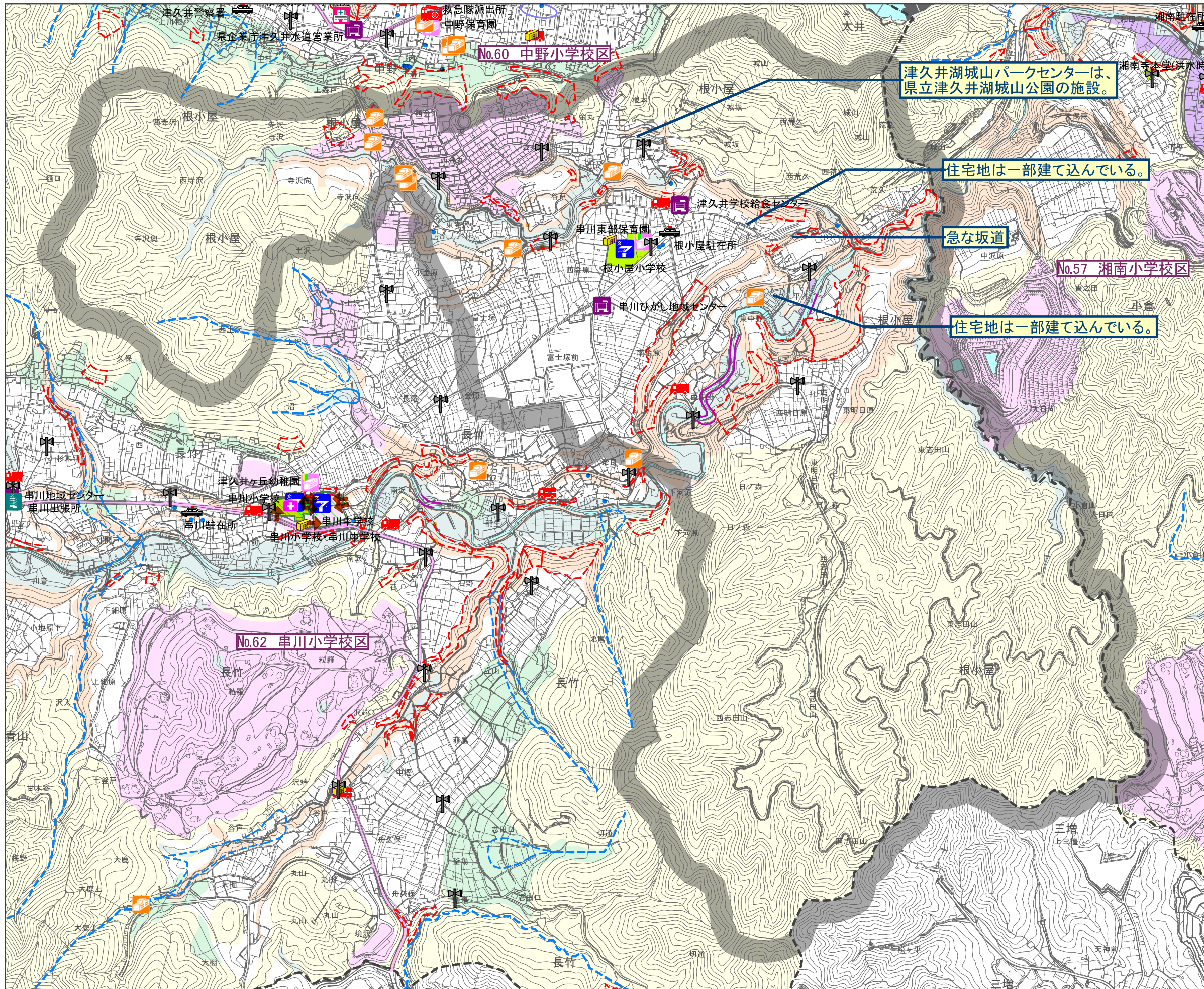
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	24 棟	1.9 %	40 棟	3.2 %	0 棟	0.0 %
建物焼失	1 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	1 人	0.0 %	3 人	0.1 %	0 人	0.0 %
閉込者	7 人	0.2 %	13 人	0.4 %	0 人	0.0 %
重傷者	2 人	0.1 %	3 人	0.1 %	0 人	0.0 %
軽傷者	21 人	0.7 %	27 人	0.9 %	1 人	0.0 %
避難所避難者(当日)	67 人	2.2 %	102 人	3.3 %	2 人	0.1 %
避難所避難者(1週間後)	201 人	6.6 %	254 人	8.3 %	25 人	0.8 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	■■■■■
土砂災害	■■■■■
地震による地盤災害	■■■■■
地震による建物被害、火災	■■■■■

○近年の主な災害履歴

平成18年12月27日 土砂災害1箇所
平成19年 9月 6日 土砂災害1箇所
平成20年 8月28日 床下浸水5戸



凡 例

防災関連施設等	
	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類	
	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴	
	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等	
	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:15000

